

在宅医療と介護に関する市民公開講座 実施報告書

日 時	平成29年2月19日(日) 14:00～16:00
場 所	高松国際ホテル 瀬戸の間
参加人数	380名
内 容	<p>◆あいさつ 大西市長、高松市医師会 神内会長</p> <p>◆基調講演「母に歌う子守唄～わたしの介護日誌～」 講師:落合 恵子(作家/クレヨンハウス主宰)</p> <p>◆在宅ケア便利帳の紹介 吉澤 潔(医師/高松市在宅医療連携会議委員長)</p> <p>◆パネルディスカッション「かかりつけ医を持つために」 コーディネーター:吉澤 潔(医師/高松市在宅医療連携会議委員長) パネリスト:落合 恵子(作家/クレヨンハウス主宰) 神内 仁(医師/高松市医師会会長) 大川 裕子(介護支援専門員/高松市社会福祉協議会)</p>
結 果	<p>◆アンケート結果より抜粋 232人回答(回収率61%)</p> <p>1 年齢 参加者は70歳代が最も多く(34%)、次が60歳代(33%)、50歳代(18%)だった。</p> <p>2 性別 性別は女性が83%、男性が15%と、女性の方が多かった。</p> <p>3 基調講演について ○「良かった」と答えた方が75%、「まあまあ良かった」と答えた方が19%だった。 ○良かった理由としては下記のような意見が聞かれた。 ・落合さんの体験に基づいた具体的な話がわかりやすかった、感動した、力をもらった。 ・日常感じることや悩む事を代弁者としての的確に話してもらえた。 ・自分自身で医療や介護について考え、声をあげていくことが大切だと感じた。 ・選択の権利は本人にあることを再確認した。 ・老後や親の介護について身近に考えることができた。</p> <p>4 パネルディスカッションについて ○「良かった」と答えた方が34%、「まあまあ良かった」と答えた方が42%だった。 ○良かった理由としては下記のような意見が聞かれた。 ・かかりつけ医の重要性を再認識した。かかりつけ医を見つけていきたい。 ・落合さんの「名医」より「良医」の話に納得した。 ・現在のかかりつけ医をこれからも信頼して相談をしていきたい。 ・「在宅医療」という選択肢があることが理解できた。 ○逆に、下記のような要望・意見があった。 ・制度の説明に時間がかかった。もう少し議論に時間が取れるとよかったと思う。 ・パネリストの意見をもう少し聞きたかった。 ・照明が暗く、スクリーンが見えなかった。 ○かかりつけ医を持っている方は55%だった。また、持っていないと回答した方のうち、今</p>

回の話聞いて、かかりつけ医を持ちたいと思うようになった方は79%だった。

5 在宅医療や介護を利用できる体制づくりのために何が必要だと思うか(自由記載)

○下記のような意見が多かった。

- ・市民向けの啓発(広報への掲載、公開講座等の開催等)の充実。
- ・若い世代にも今のうちから啓発を積極的に行う。
- ・地域の繋がりを大切に、近所同士で助け合える体制を作る。
- ・在宅医療を実施する機関の充実とインフラの整備、医師の育成。
- ・医療・介護人材の充実と手厚い待遇。
- ・日頃から老後や看取りについて家族と話しておくことが大切。

◆全体を通しての感想及び気になった点

- ・多くの一般市民の方に参加いただき、大盛況の公開講座となった。
- ・早くから来所された方が多く、予定より30分早めの開場となった。
- ・手話通訳者の方が、花の影に隠れて見えない場所もあった。
- ・落合さんが見えにくいくらい演台の高さがあったため踏み台等を設置しても良かった。
- ・冷茶を用意していたのが、参加者からは好評だった。
- ・駐車場の台数が限られており、苦情等の電話はなかったが、希望者全員が駐車できたか不明。
- ・便利帳について、目の不自由な方への対応が十分かと落合氏より確認あり。
→パソコンやスマートフォンの音声読み上げソフト(フリーソフトあり)を使用すれば、文書の読み上げは可能。